

あじさい 178号

もくじ

- 来てみて、会員定例会！
『私と定例会』
- ながさき育成会フォーラム
- その保険、どう使われてる？
- 育成会 ing
県大会・福祉避難所など
- お知らせ

育成会ボウリング大会が開催されました



9月20日(土)、ラッキーボウル(大橋町)にて18名のみなさんが参加し、令和7年度育成会ボウリング大会が開催されました。優勝の佐藤一朋さん、2位の小早川厚さん、3位の中尾翔さんが賞品をゲット！みなさん、成績に関係なく「楽しかった」と口々におっしゃっていました。毎年育成会の行事はボウリングだけ参加される方もおられ、「来年も来ます！」と言って帰られました。「普段会えない人に会えるのが楽しい。」という声もいただきます。みなさんも来年はご参加ください。

きずなの会で「おしゃべり会」が開催されました



長崎県育成会の本人部会“長崎きずな”主催の「おしゃべり会」が昨年に続き今年も開催され、島原市、諫早市、西海市、長崎市やふれあいネットワークピアから本人24名、支援者5名が集まりました。当会本人部会 FICS からは本人11名と支援者2名が出席しました。

前半は身近なテーマでおしゃべりするさいころトークで楽しい雰囲気作り、後半は①自分の仕事について、②親がいなくなった後の暮らし、③これからチャレンジしたいことについて、各班にサポートに入った支援者といっしょにじっくり話し合いました。



来てみて！！ 会員定例会

長崎市手をつなぐ育成会では会員同士の交流、意見交換、情報提供の場として「会員定例会」を実施しています。広報でも度々定例会の内容をお知らせしておりますので、様子をご存知かと思います。

最初は家族支援などを目的にシリーズでの研修会などを実施していましたが、「研修となると堅苦しくて苦手」という声や、広報の発送や行事で集まったお母さんたちがワイワイと子育てや仕事、家事など様々な話題で盛り上がっている様子を見るにつけ、何かのついでではなく仲間とおしゃべり自体を目的にして集まれば楽しいだろうなという思いから、2011年6月より会員定例会の活動を始めました。始めた当初は気軽に参加できるおしゃべり会を目指し、

「ストレス発散法」「おすすめの病院」など簡単なテーマを決めて曜日や時間帯を固定せず実施していました。集まる人数は様々で、来てくれた方に申し訳ないほど参加者が少ない日やコロナで休んだりしたこともありました。なんとか現在まで続いています。続けてきた甲斐あって、昨年の「手をつなぐ」（全国手をつなぐ育成会連合会誌）10月号ではありがたいことに「あなたの居場所」という特集にこの会員定例会を取り上げていただきました。近年の定例会はおしゃべり会と同時に研修会的な要素が大きくなっており、事業所の管理者や外部からの講師をお呼びしてお話を伺うこともあります。理事長が参加されるようになってからは、福祉について最新の情報を聞けるようにもなりました。参加者の顔触れはその時で違いますが、関心の高いテーマの時は20名近くになることもあります。今回、定例会の参加者の方に感想をいただきました。



2015年12月の定例会（目覚町の啓発事務所）



2024年8月の定例会
社協さんをお呼びした研修

『私と定例会』 山本 久子
色々な情報を聞くことができてためになります。
気になるテーマの時だけ参加できるのもいいと思います。

『私と定例会』 田中 祐子

私が定例会に参加するようになったきっかけは2年前の夏に友人との会話でした。直ぐに、参加する手続きを行い初参加が叶い「正に！私が求めていたことはこれだ！」と胸がわくわく！ドキドキしたことを今でもよく覚えています。自己紹介を交えての近況報告では、ご家庭の様子や子どもの成長などを笑顔で話をされるのがとても印象的です。年齢、性別など家庭環境が違っていても人間性や温かいみのある言葉には私自身がとても勉強になっています。何より、収集したいと思っていた内容がこの場で手に入る事がとても嬉しく、今まで、口に出せなかった悩みもスッキリ解決できました！又、毎月のテーマについても旬な内容を考えていただき、意見交換も充実して、毎回、2時間があっという間に過ぎて「次回は、いつかなあ？」「テーマは何？」と待ちわびています。理事長の参加もあり、疑問や質問が直ぐに回答を得られるし有り難く思っています。

『私と定例会』 E・K

定例会へのお誘いプリントに“月いち集まれ”と気持ちそそられるフレーズ！参加したいけれど行けない時期がありました。息子の学校卒業と共に、4人の親の介護支援が始まりました。キーパーソンとして動いていた私には定例会に足を運ぶ余裕はありませんでした。そんな時期も過ぎ、昨年からは実母だけの支援になったため気持ちの余裕も生まれてきました。体の不調も出てきた今、気が付くと私は還暦を過ぎ息子も32歳、いつか必ず来るであろう親なき後問題を考えるようになりました。先ず実行したのは、広報紙あじさいで定例会の話題を読んでいたので、会に参加しいろいろな情報を得ることでした。実際参加して感じたことは、子の障害の程度は様々な保護者の集まりですが、悩みは皆子どもの将来について。名司会者の元、保護者の悩みや思いを引き出しいただき皆で共感し合い安心感を得られる会だと思います。私は日頃、疑問に思っていたことを理事長さんも交えた会なので聞いていただき、今まで知らなかったことを理解し前へ進むことができました。とても充実した有意義な会になっています。啓発事業部の方には感謝すると共にこれからも積極的に参加したいと思います。



『私と定例会』 西村 仁

落ち着いた雰囲気の中、一人一人の意見を聞きながら丁寧な進行・運営をされていることに敬意を感じています。結果的に、みなさんが心地よい時間と空間を共有しているので、みなさんが楽しかった記憶と達成感を持ち帰っていることと思います。

定例会の役割は、育成会の理念を実現するための「学習の場」、それと同時に、「楽しむ場」でもあるし、喜怒哀楽を共有し共感する「共感の場」でもあります。しかし今後の会員拡充などの課題を考えると、もう一つ「発信の場、発表の場」を作ることも必要だと思います。これは会員各自が持っている経験や知識を人に伝えることによって、自己研鑽と会の活性化につなげることができると思います。特に若い人は自己主張できる機会を求めていますし、発信することで責任感や共感力を育成されることが期待されます。また、ボランティア活動等を考えている人にとっても、提案や相談をする場にもなり、若い人の意見を聞く場にもなると思います。



『私と定例会』 Y・H

転勤が終わり3年ぶりに長崎市に帰郷し、当時小2の自閉症次男の相談支援先を探していた時にいんくるさんとご縁をいただき、学童期のママ達を対象にした定例会があると誘っていただきました。引っ越したばかりの私は知り合いママもおらず、また新しい場所での環境作りに少々疲れ気味で顔見知り一人でもできたら良いなと軽い気持ちで参加しました。学童期から成人された方まで参加されている親の年齢幅が広く、特に私には就労、年金、グループホーム、親なき後など卒業後の長い人生のリアルな話題を聞かせもらえる共感あり涙あり笑顔ありの大事な場所です。障がい児の子育てに先の見えない不安に押しつぶされそうな時期もありましたが、前を向くことができるようになってきたのは、頑張ってくれた先輩ママさん達と繋がって、私は1人じゃないと安心できたからです。皆さんから「いろいろあるけど、どうにかなってきたよ～」と教わってるような気がします。今後はもっと学齢期の子を持つ保護者さんが増えたら嬉しいです。今はたくさんの情報が溢れ簡単に手に入る時代ですが、きっと先の見えない不安を抱えて悩んでいるママはいると思います。

“会員定例会”に参加して 甲田 裕

「私達のことを私達抜きにきめないでほしい」と掲げた障害者権利条約が日本で発効したのは2013年2月である。同条約を署名してから約5年かけて障害者差別禁止法等の法整備がなされた。この当時、障害者に関する情報は多く、理解するまでに多くの紙情報に悩んだ事を思い出す。会員定例会での情報交換が、法整備理解への羅針盤役を果たして頂いたことを忘れてはならない。

社会学の捉え方として「鳥の目」と「虫の目」として紹介されることが多い。社会を「森」に例えて、鳥が空から見渡すように、塊として森の色や形を把握する。虫の目とは、森を形づくる様子を地面から木々などを観察することで関係性を見ようとする手法である。会員定例会で啓発部から出される各種テーマに沿った自由な発言は、「鳥の目」「虫の目」からの語りであり、今後もこれらの見方から物語を語ってほしいと願っている。

毎月テーマを選択されるにあたり、事前学習に相当な時間を割かれている啓発事業部の皆さんに感謝と併せて、定例会で得られた会員情報を、どう整理して法人運営に生かすための提言にもご苦労があるのではないだろうか。定例会の案内が届いたとき、何を話すのか考えるのも楽しみの一つ。ワクワク感を持って参加している一人である。



会員定例会は会員さんならどなたでも参加できる気軽な集まりです。来られる方も常連さんばかりではなく、気になるテーマや暇な時だけという方、数年に1回という方、ご家族や会員外のお友だち連れという方、様々です。まだ来たことない方、1度ぜひご参加ください。

ながさき育成会フォーラム開催

9月5日（金）、長崎県総合福祉センター5階大ホールにて長崎県手をつなぐ育成会主催の「令和7年度ながさき育成会フォーラム」が開催されました。今年度は全国手をつなぐ育成会連合会会長の佐々木桃子氏を迎え、育成会の再活性化をテーマに佐々木会長の講演とグループワークが実施されました。『育成会活動の再活性化～県市町育成会の減少対策～』という演題で行われた講演では「市区町村育成会の役割は第一に自分の街に合った活動をしていくことと、やっていることを知ってもらうこと。政策提言や権利擁護（理解啓発）など自治体への働きかけ。特別支援学校と繋がること。子どもを成長させるサービスの使い方を教えること。福祉事業所と繋がること。」と話されました。学齢期の会員が増えている育成会の活動として「①働いていても参加しやすいような工夫。例えば休みがとりやすいよう年度初めに活動日程を決める、子どもが寝た後LINEお茶会、公式LINEアカウントを開設し情報配信」「②会員だからこそそのメリットをつける。会員だけにサポートファイルの配布、研修参加費は会員は無料、非会員は有料など」「③関係者への広報として特別支援学校に『会誌「手をつなぐ」を毎月贈呈、本人会のイベントに学齢期の親子を招待』などを紹介されました。後半のグループワークでは各地の育成会で①やってよかったこと、②今日の話の中でやってみたいことを話し合い、それぞれの育成会の現状について様々な意見が出されました。



その保険 どう使われている？

障害のある人は保険に加入しづらいと言いますが、もしものときに備えることは障害の有無に関係なく大切なことです。長崎市手をつなぐ育成会は「ながさきサポート協会」として『生活サポート総合保障制度』の取り次ぎをしており、育成会の会員であるなしに関わらず多くの方に加入していただいています。福祉保険に特化した保険代理店 JIC 九州株式会社様より、2024 年の請求件数と支払保険金の状況について資料をいただきましたので、報告させていただきます。

ながさき生活サポート総合補償制度 2024 年度請求件数と支払い保険金の状況

補 償 内 容	補 償 項 目	件 数	支払保険金合計(円)
病気やケガで入院した時の補償 (入院給付金)	付添介護	89	4,992,000
	差額ベッド費用	37	1,101,1000
	入院諸費用	140	1,805,000
	入院一時金	135	797,700
他人に損害を与えた時の補償	個人賠償	52	2,272,098
傷害(ケガ)をした時の補償	傷害死亡・後遺	2	115,000
	傷害入院	11	1,776,000
	傷害通院	38	858,000
病気で死亡した時の補償	葬祭費用	7	700,000
合 計		511	14,416,798

(加入者数 1,612名)

上記の表は 2024 年度の保険の請求件数とその金額をまとめたものです。特に個人賠償責任補償(日常生活中、偶然な事故により他人にけがをさせたり、他人の物を壊したりして法律上の損害賠償責任を負った場合の補償)は事故件数の増加とともに、物価高の影響もあり1件当たりの支払い保険金額も増加しているそうです。

個人賠償責任補償の支払い例は？

2024年度は施設外でパニックとなり、駐車中の自動車に突進し複数箇所を破損し約20万円の支払いが昨年度の最高額、そのほかパニックによりテレビを蹴破り約10万円、トイレのドアを何度もたたき破損させ約7万円、洗面所蛇口の破損で約6万円、眼鏡を破損させ約3万円などがあります。

知的障害のある人の中には心身の不調をうまく伝えられなかったり、感覚が鈍く痛みを感じにくい人も多く、病気の発見が遅れたり重篤化しやすい傾向があると言われています。またいざ知的障害のある人が入院となれば付き添いを求められることもあります。上の表からも分かるように付添介護の費用に多くの保険金が使われています。加えて、思いが伝わらない苛立ちや感覚過敏から来る苦しさから人や物に手が出る人もいます。「生活サポート総合補償制度」は入院やケガの補償、個人賠償の補償など、大切なお子さんをしっかりと守り、日常生活を安心して過ごすことができる制度です。加入については育成会本部(☎095-845-5668)まで



<育成会 ING>

第34回育成会県大会のおしらせ

隔年開催の長崎県手をつなぐ育成会の県大会ですが、前回西海市の大会ではコロナの影響で冊子のみの発表でした。今年は3年ぶりに大村市で開催されます。今回は会員の高齢化や会員減少などの現状を踏まえつつ、障害の有無にかかわらず誰もが“希望する地域”で“希望する生活”ができる「地域共生社会」実現のために、『新しい時代を見据えた夢のある育成会づくり』をテーマに、福岡市手をつなぐ育成会理事長下山いわ子氏を迎え記念講演やシンポジウムが実施されます。

大会スローガン:『共に歩もう みんなで繋ごう 大村大会』

大会主題:新しい時代を見すえた 夢のある 育成会へ

日時:令和7年12月6日(土) 12:30~16:15(11:30より受付開始)

場所:シーハット大村さくらホール(大村市幸町2-1)

- 記念講演:「新しい時代を見すえた夢のある育成会をつくるために」

福岡市手をつなぐ育成会理事長 下山いわ子氏

- シンポジウム:「新しい時代を見すえた夢のある育成会をつくるために」

コーディネーター兼シンポジスト 下山いわ子氏

シンポジスト 県内育成会会員数名

※参加者募集のご案内はまたあらためてさしあげます。

ハートセンターが指定福祉避難所へ

この度、かねてより要望のあった災害時における指定福祉避難所として新たに茂里町ハートセンターが指定されました。今後は大雨や台風など、災害の発生前より避難所として開設できるようになります。一般の避難所と違い、対象者が障害のある方などに限定されます。

●避難所の概要

避難場所	3F(体育室・機能回復訓練室、ADL室、陶芸室) 4F(言語療法室、理学療法室、作業療法室、心理診療室)
受け入れ対象者	日ごろからハートセンターを利用している障害者手帳、障害福祉サービス受給者証、通所受給者証、肢体不自由児通所医療受給者証などを持つ入所サービスを利用していない人とその家族や成年後見人

●利用の流れ

- ①事前に市障害福祉課またはハートセンターに利用の届け出(指定福祉避難所利用届出書)を提出
- ②対象者に該当するか市で確認(該当しない場合は利用不可となる)

※緊急の場合は事前に利用届出書が提出されていなくても当日記入が可

※飲料水・食料品・毛布・懐中電灯など、基本的には全て持参

育成会職員研修会が開催されました

今年2月に開催予定でしたが、雪のため延期になった第22回育成会職員研修会が9月10(水) 14:40より6か所の事業所に分かれオンラインで開催されました。開会行事の後、江口施設長(夢工房みどり)による研修委員会報告、蛭子課長によるヘルパーステーションの研究「利用者ご家族の高齢化に伴う支援について」という資料発表がありました。15:00からは独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の支援者登坂庸平氏による『高齢知的障害者への支援-知的障害者の高齢化への備え-』と題した講話があり、後半では『-制度編-』と題し、のぞみの園の相談支援専門員桑原さやか氏の講話がありました。

登坂氏によると「一般的に高齢知的障害者は加齢化が早く進むと言われているが、その対応や支援については前例などが少ない。利用者が50歳になる前(重度高齢化する前)に対策を講じる必要がある。高齢期の知的障害者支援に必要なことは“変化に気づく”ことであり、そのためには日々の観察記録が大切になってくる。」とのことで、特に知的障害者の認知症につ



育成会生活支援センター会場での研修の様子

いてのぞみの園での様々な研究や取り組みの報告がありました。認知症の早期発見・診断のために支援者ができることとしては元気な時の健康診断や嗜好・性格・社会生活スキル・コミュニケーション手段などの記録(ベースライン)を録っておくこと、健康診断の実施やかかりつけ医と連携できるよう医療機関を確保しておくこと、認知症を疑えるような知識をつけることを挙げられました。育成会の事業所でも利用者の重度・高齢化は大きな課題となっており、お話を聴いて当会としてもやれること、やるべきことが整理できた研修となりました。

育成会バスハイクのお知らせ



令和7年度育成会バスハイクを11月23日(日)に実施します。行先は紅葉の美しい佐賀県の「環境芸術の森」です。詳しいご案内はこの広報といっしょにお送りしておりますので、そちらをご覧ください。

たくさんの方のご参加をお待ちしております！！

賛助会費納入のお礼

令和7年度賛助会費を納入いただきました。

3口 田中昭二様

3口 松下幸美様

お礼状に代えて紙面でお礼申し上げます。ありがとうございました。

おしらせ

フラワーアレンジメント・書道
フラワーは第2、第4土曜日の10:30、書道は第4土曜日の13:00から実施中です！

社会福祉法人
長崎市手をつなぐ育成会 広報部
長崎市大橋町 19-19
文教カテリーナ1F
Tel:095-845-5677

timecare@nagasaki-shi-ikuseikai.jp

10月の定例会

日時：10月16日（木）10:00～12:00 「その声かけ、セーフ？or NG？」
声掛けひとつでスムーズにいったりフレーキになったり。お子さんへの声掛けどうしてますか？

11月の定例会は11/19（水）を予定しています。

生活支援センター会議室（大橋）

定例会へのお申し込み、お問い合わせは啓発事務局 TEL 845-5677 まで

10、11月の本人活動『スマイルくらぶ』の予定

- | | |
|--|--|
| ●10/5(日)「炊き込みご飯&豚汁作り」
9:30～14:30,参加費 700 円+実費 | ●11/2(日)「稲佐山」
9:30～14:30,参加費 700 円+実費 |
| ●10/11(土)「フラワー&ゲーム」
9:30～14:30,参加費 800 円+実費 | ●11/3(月・祝)「障害者スポーツを楽しもう！」
9:30～14:30,参加費 700 円+実費 |
| ※フラワーのみ 10:30～11:30,参加費 500 円+実費 | ※障害者スポーツのみ 9:30～12:00,参加費 400 円 |
| ●10/12(日)「科学館」
9:30～14:30,参加費 700 円+実費 | ●11/8(土)「フラワー&ゲーム」
9:30～14:30,参加費 800 円+実費 |
| ●10/13(月・祝)「合唱・フラスバンド鑑賞」
9:30～14:30,参加費 700 円+実費 | ※フラワーのみ 10:30～11:30,参加費 500 円+実費 |
| ●10/19(日)「平和公園散策」
13:00～15:00,参加費 400 円 | ●11/9(日)「シチュー&パン作り」
9:30～14:30,参加費 700 円+実費 |
| ●10/25(土)「フラワーアレンジメント&書道」
9:30～14:30,参加費ひとり 1000 円+実費 | ●11/16(日)「山茶花高原②」
9:30～15:30,参加費 800 円+実費 |
| ※フラワーのみ 10:30～11:30,参加費 500 円+実費 | ●11/23(日)※育成会バスハイクのため活動なし |
| ※書道のみ 13:00～14:00,参加費 600 円 | ●11/24(月・祝)「グラバー園&夢彩都ランチ」
9:30～14:30,参加費 700 円+実費 |
| | ●11/30(日)「皿うどん作り」
9:30～14:30,参加費 700 円+実費 |

★お申し込み、お問い合わせは啓発事務局まで

☎ 095-845-5677

✉ timecare@nagasaki-shi-ikuseikai.jp